

『風は南から』

令和6年度 校長室便り
(2月14日)(第22号)



努力の先にあるものは？

2月12日嬉しいニュースが入ってきました。沖高を卒業して2年間予備校で努力を積み重ねてきた先輩が、鹿児島大学医学部に推薦入試で見事合格しました。早速予備校の校長先生にお礼の連絡をすると、「彼は人柄がよいので良い医師になるでしょう。将来は沖永良部で医療に従事したいと言っていました。御校の生徒さんたちが、うちに来た時も励ましていましたよ」と返事がきました。きっと、昨年の夏に1年生が予備校訪問をした時に後輩たちに声をかけてくれたのでしょう。まさしく有言実行の人ですね。医学の道は本当に険しくて、私は前任校で3浪も4浪もして、結局歯学や薬学の道に進路を変更した生徒を多く見ました。「努力をした人が必ずしも成功するわけではありませんが、合格を勝ち取った人は、他の欲望は我慢して、人よりも何倍も努力をした人であることは間違いありません。」これから受験に臨む3年生の皆さんも、最後まで自分を信じて努力を続けてくださいね。

1学年オンライン講演会(立志塾)



1年普通科の「総合的な探究の時間」では、沖永良部で活躍されている方に講師をお願いして、講演会(立志塾)を行っています。1回目は、和泊町役場の「永野敏樹」氏に50年後の沖永良部についてデータを基に講話をしていただきました。2月12日は、株式会社novelio代表取締役で、くふうカンパニーの社員でもある「宮田陸」氏に、沖永良部島の島バナナを使ったリキュールの製造と販売ルートを開発した地域振興について、話していただきました。鹿児島大学時代に沖永良部島でフィールドワークを行ったことがきっかけで、島の特産を使った商品開発を始めることになったそうです。24歳という若さで、二刀流で日本中を飛び回って活躍している宮田さんの話に、生徒も聞き入っていました。島にもまだまだ新たなビジネスチャンスが眠っていることを知る良い機会となりました。

「沖高教育振興事業」に係る「スポーツ栄養講座」



2月12日(水)13(木)の1限目に1・2年生対象のオンライン「スポーツ栄養講座」を実施しました。講師は、昨年に引き続き公認スポーツ栄養士・管理栄養士の「田畑綾美」氏にお願いしました。先生は、鹿児島ユナイテッドFCをはじめ、多くの高校や団体で講演された経験があります。講座では、事前アンケートに基づき、栄養学の面から競技力の向上、けがをしない身体づくり、バランスのよい身体づくり等について分かりやすくご説明いただきました。栄養に関する生徒の一番の関心事が、「技術力向上」よりも「美容」が高かったことに、今時の高校生だなどと感心してしまいました。また、スポーツと学習の両面における食事の大切さを改めて実感しました。

3年生「沖州会ガイダンス」



2月6日(木)1限目に3年生に対して「沖州会ガイダンス」が行われました。「沖州会」とは、沖永良部出身の方で組織されている郷土会で、全国に10支部あり、進学や就職等で島を離れた方々の連携・親睦を図るために重要な役割を果たしています。毎年この時期に卒業を控えた3年生に対して、両町役

場の職員と社団法人「シマスキ」のメンバーが、会の活動内容を紹介してくれます。

説明の後、最後は卒業生で沖縄県立芸術大学に通っている「森田敬太」さんの三味線ライブ。作詞作曲の「島立ち」他、3曲を披露してくれました。卒業して不安なことがあれば何でも相談できるので、「沖州会」にぜひ参加して、先輩方との縦のつながりを大事に親睦を深めてください。説明を聞いて本当に羨ましく感じました。

「沖高ジョギング大会」



2月7日(金)雨が心配されましたが、予定通り「沖高ジョギング大会」を開催することができました。昨年度から距離を10キロから22キロに変更し、名称もマラソン大会から自分のペースで完走を目指す「ジョギング大会」へと変更して2回目の大会でした。当日は、多くの保護者に給水所等でお手伝いをいただき、本当にありがとうございました。



2年生は昨年度経験済みですが、1年生は初めての経験で緊張した面持ちでスタート地点に並んでいました。走り始めると、沿道には保護者をはじめ多くの地域の方が応援に駆けつけエールを送ってくださり、折り返し地点を過ぎてからは、お互いにハイタッチをするなど、きついながらも楽しみを見つけて走っているようでした。私も昨年は目の病気で走れなかったのが、今年是一緒に走りました。復路で知名中を過ぎた辺り



から両足のふくらはぎが何度もつりそうになりましたが、2時間19分で何とか完走できました。疲労感より達成感の方が大きく、また生徒と励まし合いながら完走できたことに一番の喜びを感じました。



先頭は、県下一周駅伝の大島地区代表の蔵満周平先生と2年陸上部の末川亮助さん。1時間23分で学校に帰ってきたそうです。さすがですね。1・2年生の皆さん、本当にご苦労さまでした。